

県の出資等に係る法人の経営状況について

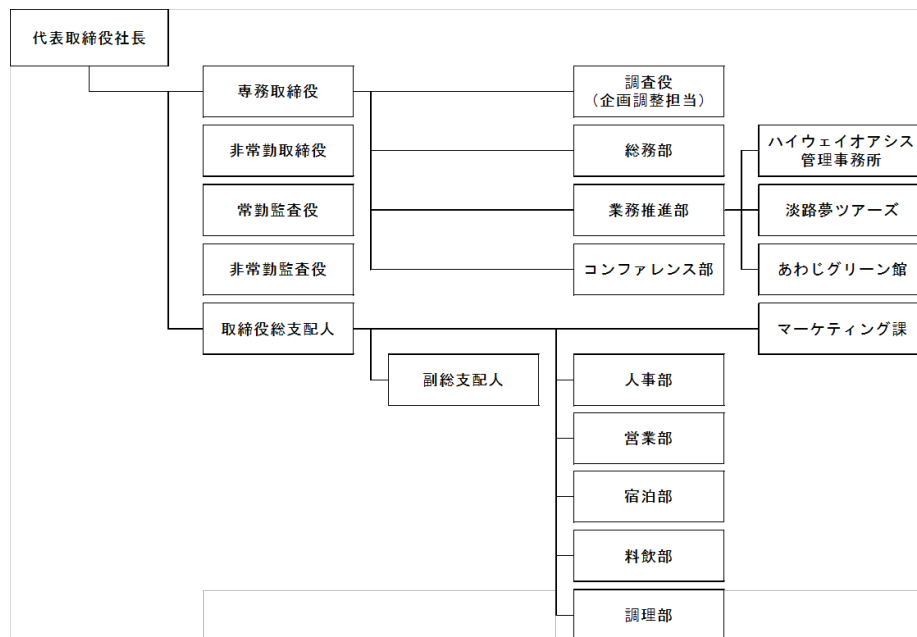
企 業 庁

株式会社 夢舞台

I 総括

法人名 株式会社 夢舞台			所在地	淡路市夢舞台1番地	
設立年月日	平成7年3月28日	所管課	企業庁総務課		
設立目的					
淡路夢舞台は、荒廃した土取跡地に自然環境の回復と創造を図り、大阪湾ベイエリアにおける交流拠点を目指すことを基本理念とした「淡路島国際公園都市」の中核施設として整備された。国際会議場、温室、灘山緑地、交流の翼港等の公の施設及びホテル、展望レストラン等の収益施設から構成される複合型施設である。					
これら施設群の一体的な管理運営を行い、淡路地域の振興に寄与することを目的として、株式会社夢舞台を設立した。					
設置に係る根拠（関係条例等）					
資本金総額		1,508,550,000円			
うち本県出資金の額		1,252,000,000円（出資比率 83.0%）			
主な株主		(株)三井住友銀行（22,815,000円） (株)みなと銀行（19,000,000円）			
役・職員の状況	役職員数	役員数 12人 〔 常 勤 4人（うち県派遣 1人、その他 3人） 非常勤 8人（うち県派遣 1人、その他 7人） 〕 社員数 171人（うち県派遣 2人、その他 169人）			
		役職名・氏名・その他職名			常勤・非常勤の別
	代表者 ※R7.8時点	代表取締役	前田 正志		常勤
	その他の役員 ※R7.8時点	専務取締役	葉山 琢		常勤
		取締役	星野 美奈子	グランドニッコー淡路 総支配人	常勤
		取締役	梶本 修子	兵庫県公営企業管理者	非常勤
		取締役	戸田 敦大	淡路市長	非常勤
		取締役	古川 卓哉	（一財）淡路島くにうみ協会 副理事長	非常勤
		取締役	田所 英司	淡路信用金庫 専務理事（代表理事）	非常勤
		取締役	鳥居 敬	川崎重工業(株) 執行役員総務本部長	非常勤
		取締役	神尾 真裕美	(株)神戸製鋼所 総務・CSR部担当部長 兼総務グループ長	非常勤
		取締役	小熊 英国	芸術文化観光専門職大学 教授	非常勤
		監査役	政辻 孝克		常勤
		監査役	中村 浩一郎	(株)三井住友銀行 公務法人営業第二部長	非常勤
		監査役	川上 和也	(株)みなと銀行 地域戦略部長	非常勤

組 織 概 要



II 決算状況について

1 令和6年度事業の概要

(1) 総括的事項

淡路地域の振興拠点として、ホテルや展望テラス内レストラン、国際会議場、温室などの夢舞台施設群並びにハイウェイオアシスの管理運営を行った。

<参考①：夢舞台主要施設の概要>

施設名称	施設所管部局	運営方法	管理運営者
ホテル（客室数 201 室）	企 業 庁	貸 付	(株) 夢 舞 台
展望テラス内レストラン			
国際会議場	産 業 労 働 部	指定管理	
百段苑、展望テラス、灘山緑地	まちづくり部	指定管理	
温室（あわじグリーン館）			
ハイウェイオアシス			
交流の翼港	土 木 部	指定管理	

(2) 具体的事項（事業実績等）

① 社会経済情勢の影響

淡路島では、新たな観光施設の開業が進んでいるが、多くの既存施設の入込状況は新型コロナ前の水準に届いていない。当該法人では、経費の増加や売上の伸び悩みのほか、最繁忙期の8月に南海トラフ地震臨時情報や台風によるキャンセルなど自然災害の影響も受けた。また、あわじグリーン館の改修工事に伴う長期休館と一部テナントの休業により来客数が減少した。全社的に厳しい状況であったが、徹底した経費削減等により、当期純利益約5百万円を確保した。

② 営業収益確保の取組

ホテルは、稼働率や宿泊者数は減少したが、単価重視の方針により利益確保に努めた。国際会議場は、大型会議が低調であったが、国内会議で件数を維持した。

<参考②：(株)夢舞台の損益

(単位：百万円 ※四捨五入により端数処理)

科 目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	増減 (A－B)	平成30年度 (C)※コト前	増減 (A－C)
営業収益（売上）	3,665	3,754	△89	3,608	57
営業費用（売上原価・販管費）	3,681	3,805	△124	3,658	23
営業利益（△損失）	△16	△52	36	△50	34
営業外収支	12	10	2	17	△5
経常利益（△損失）	△4	△42	38	△33	29
特別利益	13	19	△6	0	13
特別損失	0	0	0	0	0
法人税及び事業税	4	3	1	3	1
当期純利益（△損失）	5	△26	31	△36	41

<参考③：夢舞台主要施設の利用状況>

区 分		令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	対前年比 (A／B)	平成 30 年度 (C)※コト前	対 H30 年比 (A／C)
ホ テ ル	客室稼働率 (%)	58.1	63.0	92.2%	68.5	84.8%
	宿泊者数 (千人)	86	93	92.5%	98	87.8%
	宴会 (一般・婚礼)(件)	471	507	92.9%	653	72.1%
	レストラン・ショップ (千人)	214	228	93.9%	300	71.3%
展望テラス内レストラン (千人)		74	115	64.3%	187	39.6%
国際会議場 (件)		397	351	113.1%	385	103.1%
温室 (千人)		6	108	5.6%	180	3.3%
ハイウェイオアシス (千人)		1,506	1,570	95.9%	1,605	93.8%

2 令和6年度決算

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位: 円)

科 目	前 年 度 末 (A)	当 年 度 末 (B)	増 減 (B - A)
<u>流動資産</u>	<u>904,862,678</u>	<u>847,168,247</u>	<u>△ 57,694,431</u>
現金及び預金	334,338,674	406,259,521	71,920,847
売掛金	489,588,482	327,587,471	△ 162,001,011
貯蔵品	40,858,529	43,761,703	2,903,174
前払費用	16,550,853	31,148,747	14,597,894
未収入金	15,670,581	38,288,412	22,617,831
未収還付法人税等	7,643,940	0	△ 7,643,940
短期貸付金	155,000	0	△ 155,000
その他流動資産	77,402	145,067	67,665
貸倒引当金	△20,783	△22,674	△ 1,891
<u>固定資産</u>	<u>579,086,810</u>	<u>547,708,884</u>	<u>△ 31,377,926</u>
<u>有形固定資産</u>	<u>542,694,555</u>	<u>524,108,123</u>	<u>△ 18,586,432</u>
建物	261,678,863	247,393,313	△ 14,285,550
構築物	42,443,385	37,881,640	△ 4,561,745
機械及び装置	3,205,430	2,601,426	△ 604,004
車両及び運搬具	1,928,701	1,459,699	△ 469,002
工具器具及び備品	74,579,616	67,198,035	△ 7,381,581
土地	156,676,510	156,676,510	0
リース資産	2,182,050	10,897,500	8,715,450
<u>無形固定資産</u>	<u>16,192,391</u>	<u>8,877,700</u>	<u>△ 7,314,691</u>
電話加入権	5,533,200	5,533,200	0
ソフトウェア	7,003,241	3,344,500	△ 3,658,741
リース資産	3,655,950	0	△ 3,655,950
<u>投資その他の資産</u>	<u>20,199,864</u>	<u>14,723,061</u>	<u>△ 5,476,803</u>
差入保証金	12,601,424	12,351,424	△ 250,000
長期前払費用	7,588,440	2,351,637	△ 5,236,803
その他の投資	10,000	20,000	10,000
資産の部合計	1,483,949,488	1,394,877,131	△ 89,072,357
<u>流動負債</u>	<u>1,188,780,719</u>	<u>1,113,253,956</u>	<u>△ 75,526,763</u>
買掛金	49,322,155	44,382,967	△ 4,939,188
短期借入金	300,000,000	300,000,000	0
1年内返済予定の長期借入金	21,671,000	20,004,000	△ 1,667,000
預り保証金	0	1,000,000	1,000,000
リース債務	5,254,200	2,876,940	△ 2,377,260
未払金	601,561,773	551,797,960	△ 49,763,813
未払費用	127,604,413	93,395,683	△ 34,208,730
未払法人税等	9,072,700	12,087,200	3,014,500
未払消費税等	13,165,100	27,343,200	14,178,100
契約負債	21,423,582	24,807,563	3,383,981
前受金	3,558,476	3,401,193	△ 157,283
預り金	10,347,320	4,079,250	△ 6,268,070
賞与引当金	25,800,000	28,078,000	2,278,000
<u>固定負債</u>	<u>264,292,528</u>	<u>245,887,144</u>	<u>△ 18,405,384</u>
長期借入金	28,319,000	8,315,000	△ 20,004,000
長期預り保証金	31,941,022	30,941,022	△ 1,000,000
退職給付引当金	204,032,506	197,520,812	△ 6,511,694
リース債務	0	9,110,310	9,110,310
負債の部合計	1,453,073,247	1,359,141,100	△ 93,932,147
<u>株主資本</u>	<u>30,876,241</u>	<u>35,736,031</u>	<u>4,859,790</u>
資本金	1,508,550,000	1,508,550,000	0
利益剰余金	△1,477,673,759	△1,472,813,969	4,859,790
その他利益剰余金	△1,477,673,759	△1,472,813,969	4,859,790
繰越利益剰余金	△1,477,673,759	△1,472,813,969	4,859,790
純資産の部合計	30,876,241	35,736,031	4,859,790
負債及び純資産合計	1,483,949,488	1,394,877,131	△ 89,072,357

損 益 計 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位：円)

科 目	金 額	
売上高		3,665,280,496
売上原価		406,734,838
売上総利益		3,258,545,658
販売費及び一般管理費		3,274,835,136
営業損失 (△)		△ 16,289,478
営業外収益		
雑収入等	14,012,130	14,012,130
営業外費用		
支払利息	2,126,582	
その他	126,824	2,253,406
経常損失 (△)		△ 4,530,754
特別利益		
燃料費高騰対策事業補助金	13,157,997	13,157,997
税引前当期純利益		8,627,243
法人税、住民税及び事業税		3,767,453
当期純利益		4,859,790

財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<u>流動資産</u>	<u>847,168,247</u>	<u>流動負債</u>	<u>1,113,253,956</u>
現金及び預金	406,259,521	買掛金	44,382,967
売掛金	327,587,471	短期借入金	300,000,000
貯蔵品	43,761,703	1年内返済予定の長期借入金	20,004,000
前払費用	31,148,747	預り保証金	1,000,000
未収入金	38,288,412	リース債務	2,876,940
その他流動資産	145,067	未払金	551,797,960
貸倒引当金	△22,674	未払費用	93,395,683
		未払法人税等	12,087,200
		未払消費税等	27,343,200
		契約負債	24,807,563
<u>固定資産</u>	<u>547,708,884</u>	前受金	3,401,193
<u>有形固定資産</u>	<u>524,108,123</u>	預り金	4,079,250
建物	247,393,313	賞与引当金	28,078,000
構築物	37,881,640		
機械及び装置	2,601,426	<u>固定負債</u>	<u>245,887,144</u>
車両及び運搬具	1,459,699	長期借入金	8,315,000
工具器具及び備品	67,198,035	長期預り保証金	30,941,022
土地	156,676,510	退職給付引当金	197,520,812
リース資産	10,897,500	リース債務	9,110,310
<u>無形固定資産</u>	<u>8,877,700</u>		
電話加入権	5,533,200		
ソフトウェア	3,344,500		
<u>投資その他の資産</u>	<u>14,723,061</u>		
差入保証金	12,351,424		
長期前払費用	2,351,637		
その他の投資	20,000		
資産の部合計	1,394,877,131	合 計	1,359,141,100
		差引純財産	35,736,031

Ⅲ 事業計画について

1 令和7年度事業の概要

(1) 総括的事項

環境創造の発信や脱炭素の取組強化等により「あわじ環境未来島構想」を先導するとともに、交流の促進や利用者満足度の向上に資する新たな取り組みに挑戦し、健全経営確保と地域振興への貢献を両立する。

(2) 具体的事項（事業計画等）

① 収益力・集客力の向上

- ア 大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭 2025 など各種イベント等に伴う需要や企業社員旅行・研修旅行の取込み
- イ オークラニッコーホテルグループの販促プログラム（団体の販路拡大に向けた相互送客プログラム）への参画
- ウ 経費高騰と市場動向を鑑みたレストラン販売価格の再改定
- エ 国際会議場について医学系会議やリピーター会議の確実な獲得
- オ 旅行社への働きかけ等によるあわじグリーン館の集客強化

② 地域振興

「淡路島国際公園都市」の中核施設として、県・市をはじめ島内で立地が進む集客施設等と連携・共同し、淡路地域の魅力発信や賑わいイベントの開催などに取り組む。また、ひょうごフィールドパビリオンに認定されている「淡路夢舞台ガイドツアー」を実施し、淡路夢舞台への誘客・交流を促進する。

2 令和7年度予算

（単位：千円）

科 目	金 額
売 上 高	3,913,475
売 上 原 価	422,385
売 上 総 利 益	3,491,090
販売費及び一般管理費	3,487,898
営 業 利 益	3,192
営 業 外 収 益	10,215
営 業 外 費 用	2,124
経 常 利 益	11,283
税引前当期純利益	11,283
法人税等	7,179
当 期 純 利 益	4,104